

宮崎県で発生した新型コロナウイルスの分子疫学調査 (第四報)

微生物部

○宮原加奈 成田翼 水流奈己
新田真依子 三浦美穂 吉野修司

1

新型コロナウイルス感染症について

2019年12月31日 中国武漢市で確認

2021年11月26日 オミクロン株を確認

第6波:2022年1月2日~2022年6月19日

第7波:2022年6月20日~2022年10月4日

2

対象

期間:2022年1月2日~2022年10月4日

第6波・第7波のオミクロン株検体のうち、高精度で全ゲノム解析のできた1,146例



3

方法

(1) SARS-CoV-2陽性検体を「新型コロナウイルスゲノム解析プロトコル」に従い、全ゲノム解析

(2) 宮崎県のハプロタイプ・ネットワーク図をPOPARTを用いて作成

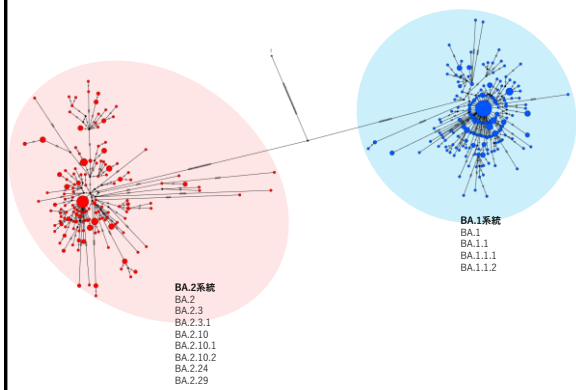
(3) ハプロタイプ・ネットワーク図と疫学情報の照合

4

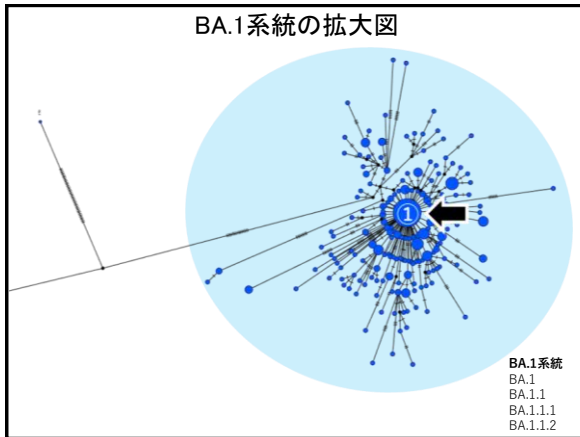
結果・考察

5

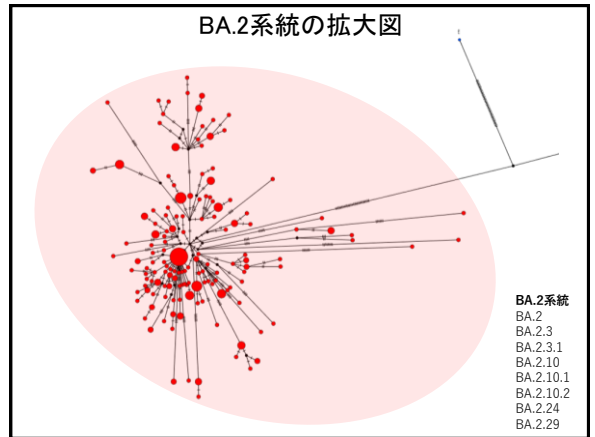
本県の第6波におけるハプロタイプ・ネットワーク図



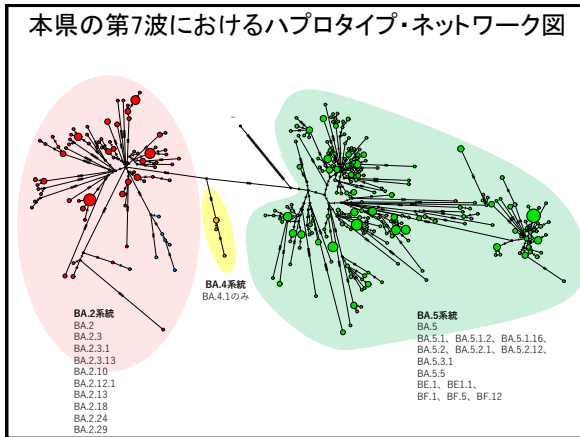
6



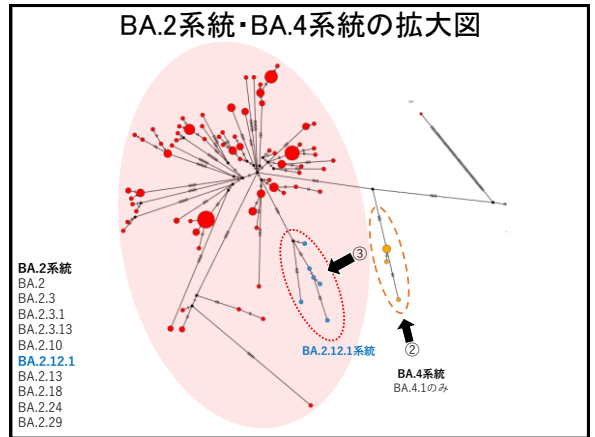
7



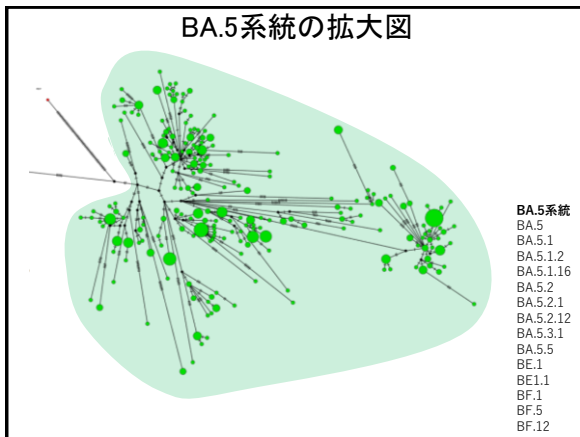
8



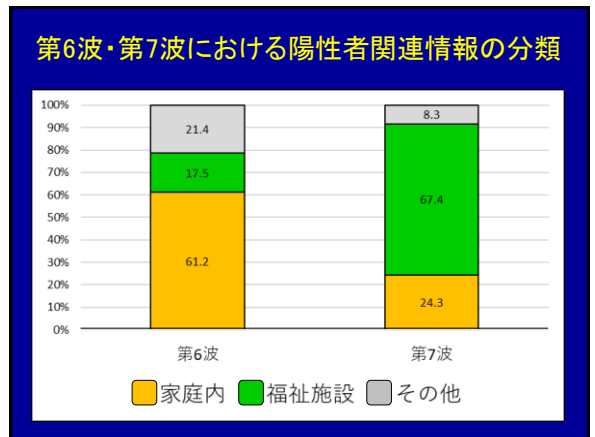
9



10

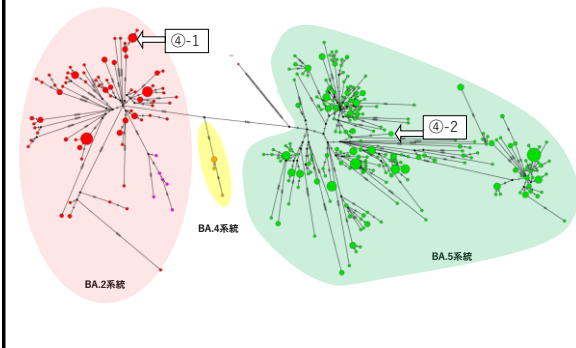


11



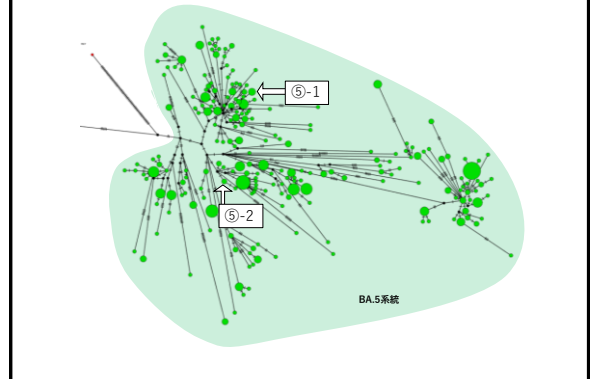
12

施設Aにおけるハプロタイプ・ネットワーク図(第7波)



13

施設Bにおけるハプロタイプ・ネットワーク図(第7波)



14

まとめ

- ・第6波のBA.1系統には中心となる系統が見られた
- ・BA.2系統とBA.5系統ではさまざまな系統が県内に流入したと推測された
- ・さまざまな系統が流行すると、混合感染事例もでてくる可能性が高い
- ・県内の流行系統を把握するためには、行政検体以外の検体収集が必要

15

今後の計画

- ・新たな脅威となり得る変異株の早期探知のための、行政検体以外の検体収集
- ・全ゲノム解析可能検体(第8波)の解析を進め、第五報として報告

16

謝辞

今回の調査の実施にあたり、ご協力いただきました、皆様に深謝いたします。

中央保健所	日南保健所
都城保健所	小林保健所
高鍋保健所	日向保健所
延岡保健所	高千穂保健所
宮崎市保健所	感染症対策課

17